

◆2024年8月の新刊

日本キリスト教団出版局

信仰生活ガイド 全8巻 《第2期最終回配本》

苦しみの意味

かしわぎ てつ お
柏木哲夫 編

淀川キリスト教病院
名誉ホスピス長

『信徒の友』記事を書籍化、信仰生活入門シリーズ第2弾

人生に襲いくる数々の苦しみ。こうした苦しみに出会うと多くの人は不運を嘆き、人と社会を呪う。しかし聖書は「苦しみという他者」と向き合うことこそ乗り越える唯一の道であると説く。様々な実体験を紹介しながら読者と共に「あなたの苦しみの意味」を考える。

四六判・並製・128頁・定価1,540円（本体1,400円+税）

ISBN978-4-8184-1166-1 C0016

【第2期発売中】『祈りのレッスン』『老いと信仰』各巻 定価1,540円

【第1期発売中】『主の祈り』『十戒』『使徒信条』『信じる生き方』『教会をつくる』

各巻 定価1,430円



目次

苦しみを体験して

- 1 視力を失って知らされたこと……筒井昌司
- 2 愛するわが子のいのちを引き継ぐ……榊原 寛
- 3 愛する娘、美鳥と共に……昆 美也
- 4 ピアノを弾き続けたい……大野智子
- 5 がんは私の大切な一部……小池 善
- 6 「神さまが信じられなくなりました」
——東日本大震災アンケートより……大宮 博

苦しむ人と共に

- 1 苦難から隣人愛へ……高橋克樹
 - 2 三人の友人は何に失敗したのか……保 さら
 - 3 苦しむ人々どう向き合うか……山中正雄
 - 4 一つの体である教会……木原活信
 - 5 教会で認知症カフェ……二宮 忍
- 聖書は何を語る
- 1 苦難の謎への究極の答え……神代真砂実

- 2 聖書における試練……渡辺正男

苦しみの先にあるもの

- 1 「苦しみ」の行き着く地平……安積力也
- 2 信じていない者から信じる者へ……牛山 敬
- 3 悲しむ者の祈り——東日本大震災の祈り……左近 豊
- 4 今こそ祈りの時——東日本大震災被災教会の礼拝説教から
……柳谷雄介

◆2024年8月の新刊

日本キリスト教団出版局

皆川達夫セレクション

2024年8月23日 刊行予定

ルネサンス古楽の記譜法

白符計量記譜法入門

みながわたつお
皆川達夫 著

音楽史学者。1927年東京生まれ。東京大学文学部卒業、同大学院修了、中世・ルネサンス音楽史専攻。立教大学名誉教授。全日本合唱センター名誉館長。元東京大学、東京藝術大学、慶応義塾大学講師。中世音楽合唱団主宰。2020年4月19日帰天。

ひぐちりゅういち みやざきはるよ
樋口隆一 / **宮崎晴代** 監修

明治学院大学名誉教授

武蔵野音楽大学・昭和音楽大学および大学院・東京藝術大学音楽学部非常勤講師

15・16世紀ルネサンス音楽で使用された「白符計量記譜法」の解読は、五線譜に慣れ親しんだ現代人には難しい。長年中世音楽合唱の普及に尽力した西洋音楽史学者が、ルネサンス期の楽譜を原典で歌う上で必須の知識を、豊富な実例・譜例を交え初学者向けに解説。

B5判・上製・64頁・定価3,080円（本体2,800円＋税）

ISBN978-4-8184-1168-5 C3073

目次	その1 音符・休符
	その2 完全／不完全分割、不完全化・2倍化①
	その3 不完全化・2倍化②、黒符
	その4 不完全化・2倍化③
	その5 リガトゥラ（連結音符）①

その6 リガトゥラ（連結音符）②
その7 ムジカ・フィクタ（半音変化）
その8 プロポルツィオ（比例）
その9 セミプレヴィスの3分割
その10 完全分割と完全分割（3×3）



シリーズ案内

【既刊】『宗教音楽の手引き』 定価1,540円

【続刊】『音楽も人を救うことができる』

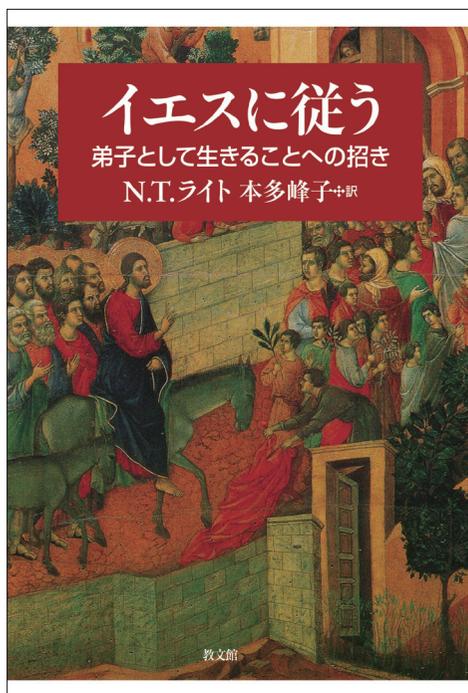
2024年10月刊行予定



イエスに従う

弟子として生きることへの招き

N.T.ライト❖著 本多峰子❖訳



「わたしについて来たい者は、自分を捨て、
自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」

私たちはイエスを歴史的に探求することに熱心であっても、そのイエスに従おうとしているだろうか？ イエスの弟子として生きるとはどういうことなのか？ 新約聖書学の第一人者が、新約聖書の各書からイエスの弟子の聖書的モデルを指し示した、待望の説教集。

第I部 イエスを見つめながら	第II部 生きた犠牲
第1章 最終的犠牲——ヘブライ人への手紙	第7章 死者を復活させる神
第2章 戦いの勝利者——コロサイの信徒への手紙	第8章 新たにされる心
第3章 人の子の王国——マタイによる福音書	第9章 誘惑
第4章 神の栄光——ヨハネによる福音書	第10章 地獄
第5章 神の僕なる王——マルコによる福音書	第11章 天国と力
第6章 新たに生まれた世界——ヨハネの黙示録	第12章 新しい命-新しい世界

❖著者 N.T. ライト (1948-) セント・アンドリュース大学教授、ウィクリフ・ホール(オックスフォード)上席研究員。著書 『新約聖書と神の民』(新教出版社)、『N.T. ライト新約聖書講解』『悪と神の正義』(以上、教文館)など多数。

❖訳者 本多峰子 二松学舎大学教授。訳書 S. T. デイヴィス編『神は悪の問題に答えられるか』(教文館)など。

四六判・並製・200頁・定価2,310円(本体2,100円+税) ISBN978-4-7642-6763-3 C3016

メソジスト入門

ウェスレーから現代まで

W. J. エイブラハム 著 加納和寛 / 赤松真希 訳

「新しいペンテコステ」の現在地がここに

キリスト者の完全、聖化、個人と社会の聖性……ウェスレー兄弟の霊的体験から世界中に広まり、ホーリネス運動やペンテコステ派にも繋がるプロテスタントの一大教派は、何を信じ、どのように信仰を実践しているのか？ その歴史から現代の教勢まで、メソジスト教会の実態をまるごと解説！

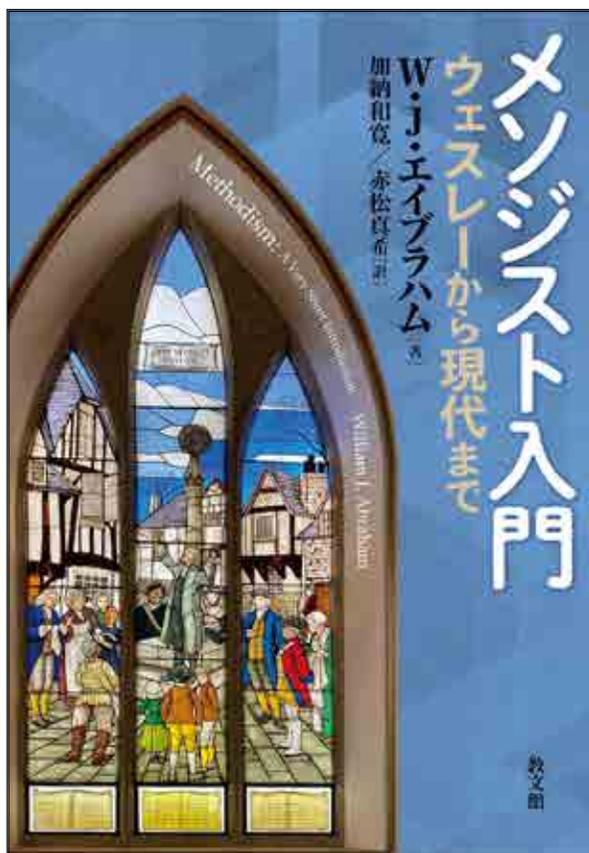
著者紹介 W. J. エイブラハム (1947-2021)

南メソジスト大学パーキンス神学大学院、シアトル・パシフィック大学、ハーバード大学神学大学院等で教える。ウェスレー研究に関する著書多数。

著者の翻訳既刊

好評発売中！

藤本満訳 『はじめてのウェスレー』
(四六判・定価 2,090 円・教文館)



四六判・並製・244頁・定価 2,640 円 (本体 2,400 円+税)・ISBN 978-4-7642-6764-0 C3016

新教出版社 新刊案内 2024年8月23日発売

ロゴセラピー

人間への限りない畏敬に基づく心理療法

エリーザベト・ルーカス著／草野智洋・徳永繁子訳

A 5判・並製・290頁・本体3000円（税込定価3300円）

ISBN 978-4-400-31101-0 C1011



著者近影（写真：勝田茅生氏提供）

【目次より】

第1部 ロゴセラピーの人間像

1. ロゴセラピーの位置づけ
2. 次元的存在論という概念
3. 運命と自由の弁証法
4. 「意味器官」良心
5. 脆弱性と健全性の弁証法
6. 快楽志向性と意味志向性の弁証法
7. 事例研究
8. 事例研究の二次元的および三次元的解説
9. 性格と人格の弁証法
10. 自己認識と自己対処

第2部 ロゴセラピーの会話形態

11. 鍵となる言葉（価値を押し付けないことを保証するもの）
12. アンビバレンス：こちらとあちらに引き裂かれている人
13. 非受容の問題：頑固に抗議する人
14. 無知の問題：無関心の壁に閉ざされた人
15. 「愛のレトリック」という考え方

第3部 ロゴセラピーの技法

16. ヴィクトール・E・フランクルによる神経症の分類

17. 不安神経症の発症
 18. 不安神経症の治療
 19. 強迫神経症的な性格を封じる
 20. ヒステリー：思いやりの欠如
 21. 諦めることによる救い
 22. 摂食障害：2つの根をもつ複合的問題
 23. 医原性の障害を避けるために
 24. 身体因性・内因性疾患の患者に寄り添う
 25. 運命からの打撃を克服するために
 26. 精神因性の神経症とうつ病
 27. 実存的空虚から抜け出す道
 28. 睡眠障害と性的障害はどのようにして生じるか
 29. 自己中心主義に対する処方箋
 30. 予防とアフターケア
 31. 人生の価値について
 32. 人生の価値について
- ## 第4部 ロゴセラピーの応用
33. よい決断ができることについて：10の命題と実践例
 34. 平和と意味：意味中心家族療法の基本的特徴
 35. 黄金の足跡を残す：まったく違う方法による自己認識
 36. ICD-10「臨床記述と診断ガイドライン」とロゴセラピーの専門用語との対応
 37. 結び

初の体系的なテキストブック！

フランクルの高弟が、ロゴセラピーの人間観から実践方法までを体系的に解説し、最新の医学的知見とのすり合わせも行う。

「ロゴセラピーが意図しているのは、人間をその存在論的な多様性において真摯に受け止めることである。」

ロゴセラピーは、人間を身体・心理・精神において総合的に捉え、心の病を適切な存在論的次元の下に焦点化し、治癒に取り組む。とりわけ精神の次元を重視する人間観と技法は、医療と心理の専門家のみならず、教師や宗教者など人と深く関わる全ての者にとって豊かな示唆に富む。

著者は1942年ウィーンに生まれる。ウィーン大学でヴィクトール・フランクルに師事。ドイツを拠点に実践家・指導者としてロゴセラピーの理論化と普及に貢献。40冊近い著書を持つ。NHK「この時代の」講師の勝田茅生氏も著者の指導を親しく受けた。訳者の草野氏は臨床心理士・琉球大学准教授、徳永氏はドイツ在住のロゴセラピスト。

日本基督教団 戸山教会主任牧師、青山学院大学名誉教授

西谷幸介 [著]

「日本教」の弱点

—— 無責任性と日本人

「神道信条」五カ条の英文・邦訳初公開！

幼児的依存を純粹に体現できる者こそ
日本社会で頂点に立つ。

最高権力者は言わば赤ん坊として全体を統治する。赤子たるものにどうして過重な責務を負わせたり、責任を問うたりできようか……。上から下までこの構造にまるごと収まっている「日本教」の弱さを正面から見すえ、私たちのとるべき生き方を指し示す慧眼の書。

主な目次	第六章 歌舞伎『三人吉三』
はじめに —— 『神道信条』五カ条	—— 親分に上納される子分の百両
第一章 無責任性	第七章 戯曲『父帰る』
—— 日本社会が抱える重大問題	—— 親子関係の逆転
第二章 〈記紀〉の国家論的解釈	第八章 君と臣の責任と無責任
—— 「日本システム」の真相	第九章 なぜ日本人は戦争責任を
第三章 『日本書紀』の述作過程に関する	追及しないのか？
新しい歴史学的論証	おわりに
第四章 「母子の情愛」の結実としての	あとがき
「日本システム」	書評再録
第五章 落語『百年目』 —— 日本教の美点	

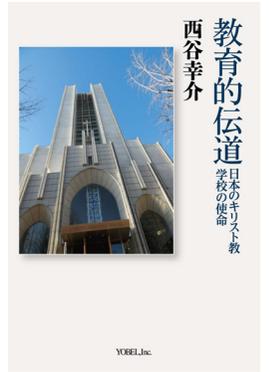
著者略歴：
西谷幸介（にしにん・こうすけ）

1950年、佐賀県生。1980年、東京神学大学院博士課程修了。
1986～88年、スイス・バーゼル大学神学部留学（97年、Dr. theol. 取得）。東北学院大学文学部教授、青山学院大学 専門職大学院国際マネジメント研究科教授、同大学院宗教主任を経て、現在、日本基督教団 戸山教会主任牧師、青山学院大学名誉教授。
著書：『ニーバーとロマドカの歴史神学 —— その社会倫理的意義』（ヨルダン社、1996）、*Niebuhr, Hromadka, Troeltsch, and Barth: The Significance of Theology of History for Christian Social Ethics* (New York: Peter Lang Publishing, 1999)、『十字架の七つの言葉』（初版：ヨルダン社、1999、改訂新版：ヨベル、2015）、『宗教間対話と原理主義の克服』（新教出版社、2004）、*Understanding Japanese-ness: A Fresh Look at Nipponjinron through "Maternal-filial Affection"* (Hamilton Books, 2017)、『教育的伝道 —— 日本のキリスト教学校の使命』（2018）『母子の情愛 —— 「日本教」の極点』（2020）、改題改訂増補新版『「日本教の極点」 —— 母子の情愛と日本人』（以上ヨベル、2023）他。
訳書：W・パネンベルク『現代キリスト教の霊性』（教文館、1987）、W・グロール『トレルチとバルト』（教文館、1991）、J・M・ロツホマン『駆けよってくださる神』（新教出版社、2000）、R・R・ニーバー『復活と歴史的理性』（新教出版社、2009）、A・リチャードソン『仕事と人間』（新教出版社、2012）他。

好評発売中



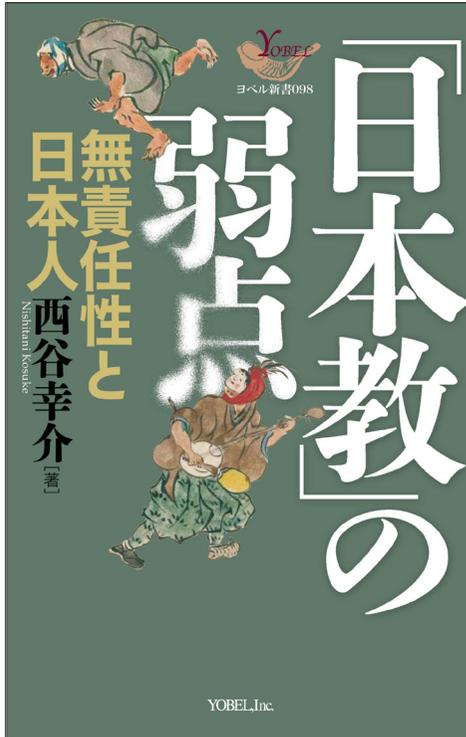
新書判・240頁・定価 1,430円
本体 1300円 + 税 ISBN978-4-909871-96-1 C0216



A5判・376頁・定価 3,960円
本体 3600円 + 税 ISBN978-4-907486-64-8 C0016



8月15日刊行予定



新書判・264頁・定価 1,650円 税込
本体 1500円 + 税 ISBN978-4-911054-25-3 C0216



川上直哉 [著]

FEBC 放送で、好評を博した 3.11 以降の宣教論！！

私の救い、私たちの希望

ボッシュ『宣教のパラダイム転換』を被災の地で読む

8月20日刊行予定

牧師カワカミ・ナオヤ、 現場から神学する！

「選択を迫り、その結果次第で、その人との関係を切るかもしれない」という「今までの伝道・宣教」とは違う何かを探さなければ。「人数が少ないこと」が問題なのか。むしろ「人数を求めること」が問題なのではないか。

主な目次

私の救い、私たちの希望 (第1回)
宮城石巻読書の集い
パラダイムを貫く共振

私の救い、私たちの希望 (第2回)
宮城石巻読書の集い
教会の外にいる人の言葉で、
福音を語りなおす

私の救い、私たちの希望 (第3回)
宮城石巻読書の集い
「神は、偏在する」。
東北で聖書を読むことの意味

私の救い、私たちの希望 (第4回)
宮城石巻読書の集い
なぜ私たちは宣教するのか、
礼拝に生きるのか

私の救い、私たちの希望 (第5回)
宮城石巻読書の集い
東北キリシタンの成功
そして消滅の姿から

私の救い、私たちの希望 (第6回)
宮城石巻読書の集い
現場から聖書を読み、宣教を見つめる。

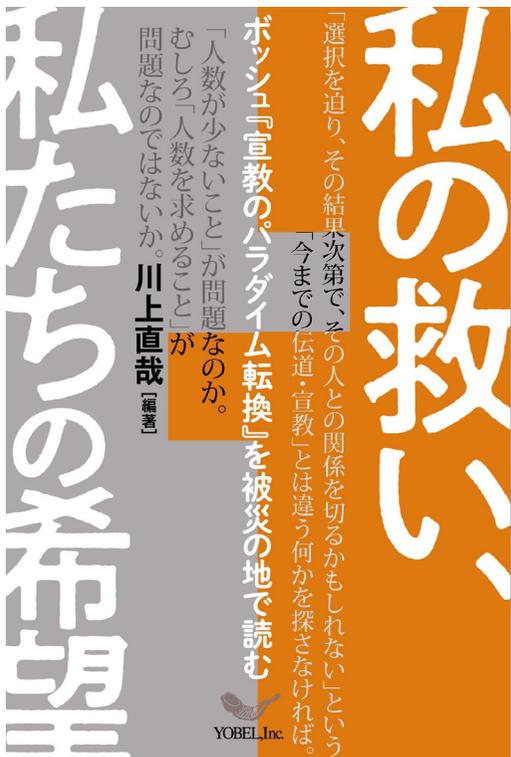
「東北ヘルプ」掲載記事から
釜石から——「街の牧師」として：
高橋夫妻インタビュー

「東北ヘルプ」掲載記事から
「街の牧師」の可能性
——釜石と熊本から

【書評再録】
P・T・フォーサイス 川上直哉 [訳著]
活けるキリスト
——『活けるキリスト』の現代的意味
不器用な人びと 大頭眞一氏

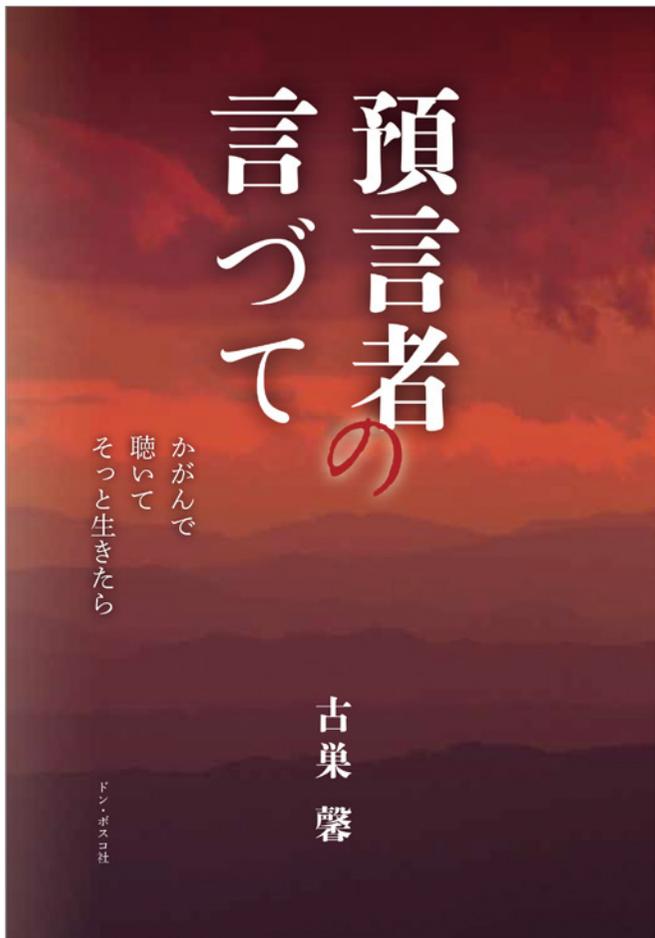
川上直哉 (かわかみ・なおや) 1973年、北海道に牧師の息子として生まれる。神学博士(立教大学)・牧師(日本基督教団正教師)。宮城刑務所教誨師、宮城県宗教法法人連絡協議会常任幹事、仙台白百合カトリック研究所客員研究員、東北学院大学非常勤講師、仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク(NPO法人「東北ヘルプ」)代表、食品放射能計測プロジェクト運営委員長、世界食料デー仙台大会実行委員長。2018年4月～日本基督教団石巻栄光教会主任担任教師。(2024年7月31日現在)

主な著書『日本におけるフォーサイス受容の研究：神学の現代的課題の探究』(キリスト新聞社、2012)、『食卓から考える放射能のこと』(共著・いのちのことば社、2013)、『被災者支援と教会のミニストリー』(共著・いのちのことば社、2014)、『被ばく地フクシマに立って——現場から、世界から』(ヨベル、2015)、『ポスト・フクシマの神学とフォーサイスの贖罪論』(新教出版社、2015)、『震災と市民2支援とケア』(共著・東京大学出版会、2015)、『東日本大震災と〈復興〉の生活記録』(共著・六花出版、2017)、『被災後の日常から——歳時記で綴るメッセージ』(ヨベル、2018)、『東日本大震災と〈自立・支援〉の生活記録』(共著・六花出版、2020)、フォーサイス『聖なる父——コロナ時代の死と葬儀』(ヨベル、2020)、フォーサイス『活けるキリスト——「活けるキリスト」の現代的意味』(ヨベル、2022)、『東北キリシタン探訪』(共著・教友社、2024)



四六判並製・264頁・定価1,980円

本体1,800円+税 ISBN978-4-911054-33-8 C0016



預言者の言づて

古巣馨

かがんで 聴いて そっと生きてら

人生は言葉にならないことが
じつはいちばん面白いのだと、教えていただきました。
だから、もう少し受けた言づての続きを
生きてみようと思います (「おわりに 希望の話を」より)

月刊『カトリック生活』*の好評連載「預言者の言づて」が
読者の要望に応じて1冊の本になりました。

人に寄り添い、共に笑い慟哭し、歩み続ける著者が会った、
キリストの続きを生きる現代の預言者たちの「言づて」です。

*月刊『カトリック生活』は2024年3月より休刊中です。

プロフィール

1954年長崎県五島市生まれ。1981年、初来日した教皇ヨハネ・パウロ二世により司祭叙階。カトリック長崎教区司祭。現在、長崎大司教区法務代理、長崎純心大学教授、司教協議会列聖列福委員会委員、長崎刑務所教誨師等を務める。

目次

はじめに にじり口から

第一章 榎の木の下で
ちょうど、よかった
ひとつの顔
しがらみ
見よ、この人を
百年のいのり
立ち止まれば、花

第二章 手のひらに刻まれた人
花のようになったらば
かげぼうし
ひとりじゃない
ふるしき賛歌
じいっと見つめたら
言葉なきいのり
天使に遇いましたか

第三章 眩しさのあとさき
道端の隣人たち
ささやく空蝉
たね火
タロウのしっぽ
お星さんが一つでた
やさしさの続き
水がめを運ぶ人

第四章 凜として
傍らに立つ母
明日は、あなた
風のように、雲のように
偏らないところ
独りで座る
あのひと言で

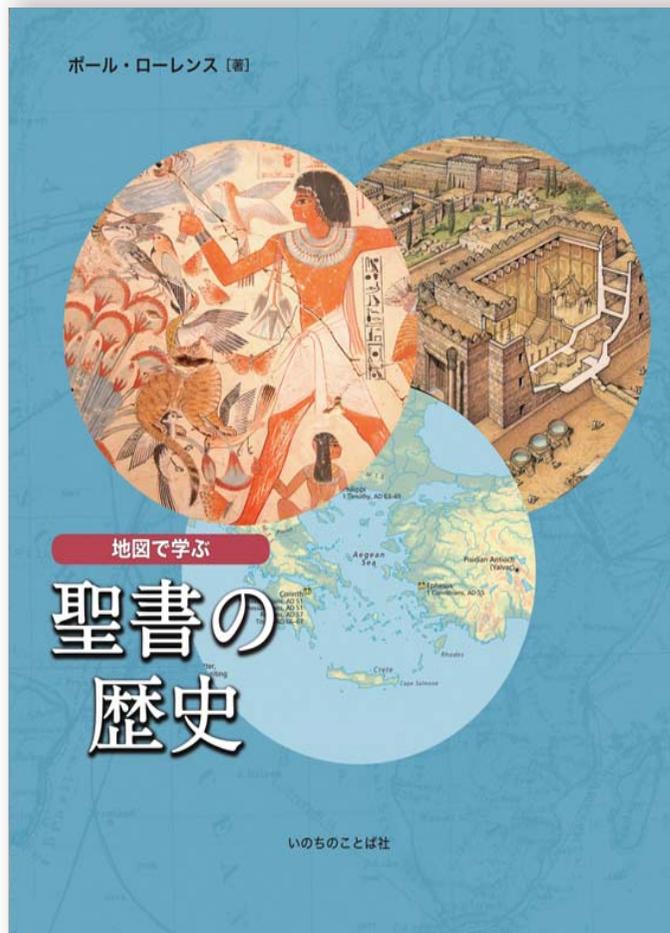
第五章 都合のない人に
なんども出会い直したら
剣を鋤に、槍を鎌に
捨て身な人たち
別の道を来た人
もしてきることなら
思いかけないこと

おわりに 希望の話を

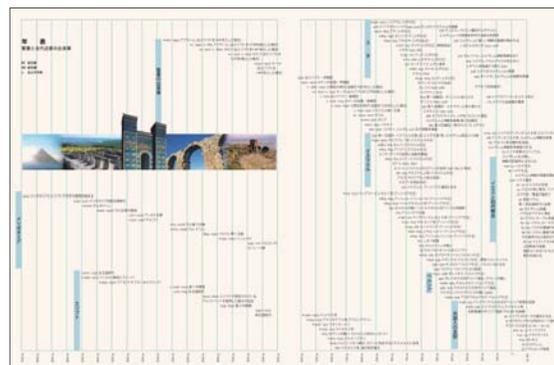
地図で学ぶ 聖書の歴史

ポール・ローレンス 著

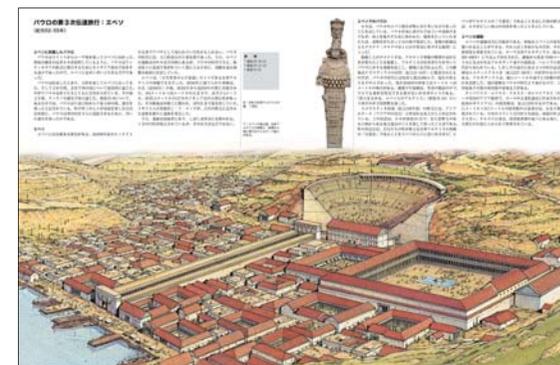
歴史資料、考古学的発見に基づいて、アブラハムからパウロの時代まで、聖書に描かれた壮大な歴史を詳細に解説する。年表、詳細な地図、建築物や風景の想像図、神殿などの見取り図、出来事の舞台や遺跡の写真など、有益な資料を満載した本格的参考書。



300×232ミリ 190頁 上製
定価3,960円(本体3,600円+税)
ISBN978-4-264-04497-0 C0016
いのちのことば社 卸コード 00520



▲年表



▲パウロの第3次伝道旅行:エペソ

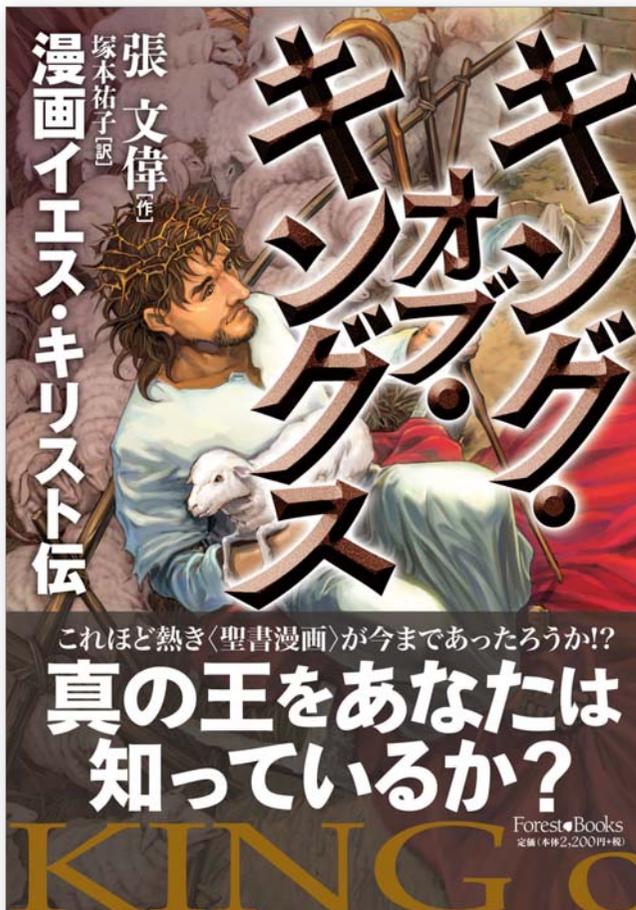


▲アレクサンドロス大王とヘレニズムの広がり



▲古代世界の文書庫と図書館

闇深き世に、
真の王が降臨した——



キング・オブ・キングス

漫画イエス・キリスト伝

張文偉 作 塚本祐子 訳

香港で活躍する漫画家が5年の歳月をかけて描いた渾身のイエス・キリスト伝、シリーズ第一巻。ヘロデ時代のユダヤを舞台に、キリストの誕生から公生涯前夜までが臨場感あふれるストーリーと迫力の劇画タッチで描かれる。真の王キリストをあなたは知っているだろうか？ 聖書の世界がわかる解説コラム・地図・図版も充実。聖書入門としてもおすすめ。

張文偉 (Cheung Man Wai)

1989年、香港の制作会社に入り、99年に漫画家デビュー。2001年、漫画指導のスタジオを友人と作る。その後、漫画家としては低迷し、フリーランスで外注を受けながら漫画制作を続ける。2005年、オーストラリアのミニストーリーの誘いを受けて、初の聖書漫画『受難』(全2巻)の制作に携わる。それが転機となり、制作工房「Capstone Workshop」を立ち上げ、子どもの頃からの夢であった聖書漫画に本格的に取り組む。2009年に『使徒行伝』第1巻を上梓、2015年に全3巻を完結させる。2018年、キリストの生涯を描く『我是王』(邦題『キング・オブ・キングス』)シリーズ第1巻を出版し、映画の手法を取り入れた場面展開や革新的なストーリーテリングで話題に。2024年現在、香港では第4巻目までが出版され、人気シリーズとなる。最終巻の第5巻(2025年4月出版予定)で完結。

A5判 336+カラー口絵4頁

定価2,420円(本体2,200円+税)

ISBN978-4-264-04511-3 C0016

いのちのことば社 フォレストブックス

卸コード 24910